

038PRESS

vol. 11

新春号



元朝参り

今季の特集
P2~P4

おみや
038 プレス流
お正月の過ごし方

- P5……第 11 回お宮町なるほどツアー
- P6……第 4 回歴史コラム／NEWS&TOPICS（地域情報）
- P7……東京余話 vol.06／第 11 回教えて浄圓房さん！
- P8……学校情報／子育てアンケート／編集後記



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021(千葉) E-mail ohmiyamachi@gmail.com

お宮町・混む
URL <http://omiyamachi.com/>

初日の出

[Hatsuhinode]
The sunrise on New Year's Day

Seeing Hatsuhinode is considered very lucky.

おみやげ 038プレス統 お正月の過ごし方

〜2014年のスタートにあたって〜

わが町お宮町に溶け込んでいるお正月の古き良き慣わしを探してみました。

健康や幸福を呼び込もうとする先人の知恵が今も日常生活に受け継がれていることにあらためて気づかされます。

初詣

[Hatsumode]
First Shrine Visit of the Year
People pay a visit to shrines to pray for happiness and good health.



仙台 初売り

[Sendai Hatsuuri]
New Year's Traditional Sale
giving luxurious gifts to customers

高松 周辺

「今年一年も無事でありますように！」
縁起の良い初日の出に、願いをかける
方も多いことでしょう。

また、私たちの住む宮町周辺には、
多くの神社仏閣があります。
新年の寿ことほぎにあわせて、地域の歴史
を巡らしてみたいかがでしょうか。

小松島小学校東側の坂を上った高松周辺からは、
初日の出が拝めます。市内中心部のパノラマも一望で
きる、絶景ポイントのひとつです。

※ 2014（平成 26）年元旦の日の出は 6 時 53 分。東南
東（方位 119.1 度）の方向に「初日の出」が上ります。

【撮影：今泉 清二氏】

万壽寺

其の一 「さざれ石」

“さざれ石”は、漢字で“細石”と書き、「君が代」に詠まれている。「♪さざれ石のいわおとなりてこけのむすまで…」は、小石が、やがて岩となり、さらに大きな巖になるという意味である。「ほんとうだろうか？」の声が聞こえそうだが、国歌である。また石の育つ瞬間を見たものは居ないのだから、誰も嘘とは言い切れない。この細石は幾千万年、わが地域に在るの



だろうか…。新年にあたり、想像力をあれこれ膨らますことも楽しい。

万壽寺

其の二 「野田の清水」

野田の清水は、多賀城市に流れる玉川の源流といわれ、現在もこんこんと湧き出ている。かつては伊達家の茶の水をくんだ処。山門手前に実に小さな橋がかかる。この橋名を“下馬橋”といい、万壽寺の山門をくぐる者は、殿様でもここで下馬したと伝えられている。

※（この地は万葉の歌枕の地として名を馳せ、松尾芭蕉も仙台東照宮から玉田横野を経て、天満宮や薬師堂へと案内されたと言う。万壽寺の清水は芭蕉も茶と



して飲んだとの逸話もあり、玉田の清水とも言われている。）



初日の出を仰いで坂をおりると、お寺があります。
悠久の歴史を刻むスポットとしても有名な「万壽寺」です。
万壽寺にまつわる、昔からの言い伝えをご紹介します。



※（元禄 2 年）1689/5/7（陽暦 6/23）、芭蕉と曾良は、奥の細道の途次、わが宮町界隈を歩いている。
この日、芭蕉の歩いた道順＝（「曾良旅日記」参照）
国分町の宿⇒北四番丁通り（歩）⇒お宮町本通り（歩）⇒仙台東照宮⇒万壽寺（万壽寺は推定。）⇒
車通り（歩）⇒榴岡天満宮⇒陸奥国分寺（木ノ下）へ。

初詣

仙台東照宮

例年7万人もの初詣客でにぎわうお宮町のランドマーク。
例祭は4月17日(徳川家康の命日)に行われます。
震災の影響で繰り延べになっていた神輿渡御は4月20日(日)に行われる予定です。

祭典ご案内

- 12月31日 午後3時 年越の大祓式
- 1月1日 初詣 午前8時 歳旦祭

※元旦のみ境内駐車場・五城中学校校庭・小松島小学校校庭使用可能。(午後6時閉鎖)

新年祈禱ご案内

- 1月1日は午前0時より午後5時半まで受付
- 1月2日からは午前9時より午後4時半まで受付

どんと祭

- 1月14日 午後3時 火入式

※参拝には出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

《お申し込み・問い合わせ先》

仙台市青葉区東照宮 1-6-1

☎(022) 234-3247

check!!

ちょっとイイ話

どれい 干支の土鈴

縁起物として初詣で買って帰る方が多いようです。毎年買って12個揃えるのも楽しいですね。

飾り方には「家の南西を背にするとよい」「床の間飾りの左脇に飾るのがいい」等諸説あります。



写真は、2013年巳年の土鈴。
2014年は午年です。

◆どんと祭には松飾りやお札とともに、土鈴もおさめることができます。

初売り

宮町商店街

昨年中は、宮町商店街をご利用頂きありがとうございました。

今年もご愛顧の程、よろしくお願い致します。

さて、宮町商店街では、多くの店舗で初売りならではの企画をご用意し皆様のお越しをお待ちしております。

今回は、その中の1店舗。スーパー八百ふじ宮町店を紹介させて頂きます。

(宮町商店街振興組 理事長 佐藤広行)



住所：青葉区宮町 3-9-5
☎：022-221-2012
(*場所はP2の地図参照)

新鮮なもの、鮮度のいいものをより安く

初売りセール

八百ふじ宮町店

2014年
1月3日・4日

「当店の開業は平成12年。地域密着型の店を目指してきました。1月3日からの初売りにも、ぜひお越し下さい。」(星店長)

初売り抽選会

2014年

1月3日(金)

午前10時～午後8時

特賞 5,000円お買物券

1等 2,000円お買物券

2等 1,000円お買物券

3等 500円お買物券

参加賞 BOXティッシュ1箱

*1,000円お買い上げ毎に1枚くじを渡しています

ちょっとイイ話 check!!

年末お買い得情報

12月25日(水)から31日(火)は、1年間のご愛顧に感謝して野菜、果物、肉、魚を中心に正月用品大特価セールを実施します。

おせちの話



えびみちこ
海老道子さん
(空堀丁町内会)

毎年手作りのお重を用意するという海老道子さんから、おせちのお話を伺いました。

受け継いだ味

お姑さんから海老家のレシピを引き継いだという道子さん。代々の味を守りつつ、「家族のリクエスト」を一番に、彩りや縁起がたくさん詰まったおせちを心がけているそう。



おせちの定番、くりきんとんや昆布巻き、かずのことひたし豆、黒豆と一緒に、家族が大好きな松前漬(手前)と、たらこぼろ(真ん中)も詰めます。

おせちやお雑煮のレシピ等、『3年ノート』に細かく記録して何冊も保管。お正月に集まった家族写真も合わせて。



check!!

ちょっとイイ話

道子さん流

市松かまぼこの作り方

- 1 ピンクのかまぼこを用意。
2本溝を作る。

断面図→



- 2 縦に切る。



Point!

紅は魔除け
白は清浄を表します

- 3 斜めに盛りつけて完成!

ひと手間で彩り&縁起もOK!

第11回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回は4名の読者参加があり、取材スタッフと合わせて9名の賑やかなツアーとなりました。お邪魔したお店は宮町通りからちょっと外れた場所にありますが、いずれも魅力たっぷりなお店ばかりでした。

手づくりこだわった弁当、惣菜の店

フレッシュフィッシュ&フードショップ きくち

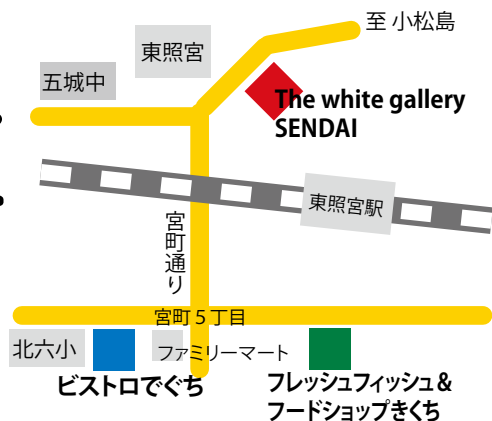


営 10:00~19:00
休 日曜・祝日
住 青葉区宮町4-9-1
☎ 022-223-2972

店内には刺身や煮魚、焼魚、各種惣菜、お弁当、果ては野菜まで所狭しと並んでいます。創業は昭和42年、元々は鮮魚店からスタートしました。惣菜や弁当、仕出しなど多くのメニューを菊地さん夫婦で手際よくこなします。自慢は「あくまでも手作り」にこだわり、手間を惜しまないこと。最近では評判を聞きつけ、会社等への仕出しも増えているそうです。

お弁当の売れ筋は幕の内弁当が480円、サービス弁当、鳥から弁当が390円。ご飯がプラス60円で大盛りも可。鮮魚コーナーには鯨の刺身(380円)も並んでおり、バリエーション豊かな店です。

「038プレスを見た!」で商品をお買い上げの方先着30名様に「イカリングフライ」又は「とりから揚げ」のいずれか1パックをサービス!



各種刺身をはじめ、美味そうな惣菜が並ぶ店内



絵画だけでなく、音楽など様々なイベントにも使用できます

宮町のアートの交流拠点

The white gallery SENDAI

宮町に画廊があるのをご存知でしょうか?「宮町や東照宮付近の雰囲気が入り、平成24年10月にこの店を始めました。アートが似合う街にしたい」とオーナーの小島さん。展示販売されている絵画等の作品、絵葉書や雑貨には、小島さんの瑞々しい感性が感じられます。また、貸しギャラリー、イベントスペースとして利用できます。昨年はさまざまな展覧会や、絵画とギターの弾き語りのイベントが開催されるなど、多彩なアート情報を交換できる場所になりつつあります。お茶を飲めるスペースもあり、気分転換したい時に立ち寄るには最適のお店です。



営 11:00~19:00
休 日曜(イベント時は営業)月曜
住 青葉区東照宮2-2-16 1F
☎ 022-346-7302

「038プレスを見た!」で、1,000円以上の品全品10%OFF、コーヒーをサービス(2月末まで)



気軽に本格的フランス料理を

ビストロでぐち



営 ランチ 11:30~14:00
ディナー 17:30~21:00
休 水曜
住 青葉区宮町4-4-30
ダイアパレス北六番丁2F
☎ 022-215-3410

開店11周年を迎えるビストロでぐちのコンセプトは、「普段着で楽しめるフランス料理の店」。仙台ホテルで腕を振るっていたご主人が、料理やデザート、パンなど全て手作りしています。メニューの主役は、奥様の出身地岩手から届く新鮮野菜。ツアー一行は、かぼちゃのポタージュスープ、ナスとズワイガニのミルフィヨ仕立て、アナゴのフリット、自家製ハムのカナッペ、デザート(柿入り蜜まめ)コーヒーをいただきました。本格的なフランス料理に、大満足。手ごろな値段で美味しい料理とワインが楽しめる店です。1週間毎にコースメニューが変わる他、季節限定のメニューの提供もあります。(ランチ¥1,100~/ディナー¥2,800~)



注文の際「038プレスを見た!」で、先着30名様にプチデザートサービス



彩もきれいなプレート

次回のご案内

- Juliet Love Cake (ジュリエットラブケーキ)
- ラビットピアノ教室
- 串処 TORI屋

以上3軒にお邪魔します!

- ・と き 1月26日(日) 15:00~17:00
- ・参加費 1,500円
- ・定員 6名
- ・集合場所 ペットショップさまん前

参加ご希望の方は、氏名・ご連絡先をご明記の上、faxにてお申し込みください。

FAX: 022-223-7988

宮町を元気に「106(とうろく)プレス」発行!

「発信することによって宮町を元気にしたい」と考えた東六小5年生。自分たちと同じ目的を持つ038プレスのバックナンバーを読み、地域情報紙の魅力や意義について話し合い、自分たちなりの情報紙を作ることにしました。そこで、038プレス編集委員をグロスティチャーに招き、同紙に対する思いを伺い、編集作業の心得も学

びました。「大切なのは自分が知りたいことを調べて知らせること。いつもアンテナを高く張ろう」という千葉編集長の言葉を受けて完成した、5年生63名による東六小情報紙「106(とうろく)プレス」。本紙に折り込みで入っていますので、どうぞお楽しみください。



仙台市児童・青少年健全育成大会 佐藤正二さんに感謝状

11月22日、青年文化センターにおいて、平成25年度仙台市児童・青少年健全育成大会が開催されました。式典では、青少年の非行防止や健全育成に多大な功績のあった当地区の佐藤正二さんに感謝状が贈呈されました。未来を担う子どもたちを健やかに育む環境づくりのために、永年にわたり



ご尽力をいただいた佐藤さんに心より感謝を申し上げます。

NEWS & TOPICS

地域情報

地域とともに ～子供たちの安全・安心を考える～



11月14日、東六小にて、地域、学校、保護者の合同研修会「地域とともに～子供たちの安全・安心を考える～」が開催され、今泉連合町内会長をはじめ、総勢60名が出席しました。

会では、災害対策実行委員会の横澤氏より災害時の町内会と子供会との連携の重要性について、宮町地区防犯協会の高橋氏より地域の防犯活動の現況についてお話をいただき、また今後のそれぞれの在り方や関わり方などで意見交換がなされました。東日本大震災以降、年一回開催されているこの研修会ですが、お互いが顔見知りになり日常的に情報交換を継続していくことが、災害時の助け合い、防犯につながると強く感じました。

誕生!! 宮町のイベントキャラクター

「みやっち」～お宮町わいわいスタンプラリー～

丸～い顔に小さな瞳、見ているだけで優しい気持ちになる『みやっち』です。

10月開催した「お宮町わいわいスタンプラリー」のため当編集局が地域有志に制作を依頼、お宮町秋のイベント4会場でお披露目となりました。

初めての企画を快く受け入れてくださったすべての皆様に感謝申し上げますとともに2014年も038press発信のご当地ゆるキャラ『みやっち』をよろしく願いいたします。



歴史 コラム 4

宮町邊美女ものがたり

二人の尼伝説

(白紅尼/紅白尼)

天平十三年(741)のある日、白紅女と紅白女の二人が、宮城郡木ノ下の陸奥国分尼寺に來た。そして尼になったと伝えられている。二人は女官であつたが、同時に聖武天皇及び光明皇后の血縁者であつたから、身分の高さは測り知れない。ある日のこと、白紅尼は紅白尼に向かつて、「我死なば葬つた処に塚を築き、墓標として公孫樹を植えてもらいたい」と語られた。

死後紅白尼は、尼寺から北へ八丁ほど離れた宮城野の一隅に遺骸を埋め、塚を築いた。そのとき墓標として植えた公孫樹が、やがて天を突く大樹になった。(樹は推定樹齡1260年の「乳銀杏」として現存する。樹はいつしか「銀杏姥神」と謂い慣わされた。) また同尼寺近くに「姥神社」の社が残る。なお、二人がなぜ宮城の地に來たのか、何も語り伝えていない。

二人の尼の系列を少し記す。同時代、光り輝く子・光明子と呼ばれた安宿媛は、時の権力者・藤原不比等(659)



付記
○白紅尼は藤原一族の一人だろ。橘三千代の説もあるが、尼寺創建の七年前に没しているから、違つ。
○紅白尼は鎌足の娘、すなわち聖武天皇は甥、皇后は父鎌足の孫。しかし光明子と、さほど歳は違わぬとする。(古代の系図は、複雑で現代人には怪奇。)
○光明皇后の発案による国分尼寺の創建は741年。
○伝説は、宮町から半里(二キロ)の地所に残るもの。
○西暦740年代は、わが宮町の夜明け前夜。(現・福澤神社はこれより遅れること四十年後の創建。)

●所要時間 東六番丁小学校から乳銀杏まで、長丁通りを歩いて約30分

「古田とホリエモンと 楽天イーグルス」

038 プレス東京駐在編集委員

三岡昭博

「今年はやっぱり楽天が勝ってよかった。みんなそう言ってますよ」

球史に残る日本シリーズが終わり、東京・杉並にある馴染みの寿司屋に顔を出すと、大の巨人ファンの大將（親方）が自分に言い聞かせるように話した。大將の名前は長島さん。私は長島さんの包丁さばきを眺めながら、シリーズ最終戦でテレビ解説をした元ヤクルト・古田のことを思った。

楽天球団が誕生した10年前、プロ野球は衰退の危機にあった。「今のままではビジネスが成り立たない」と、近鉄とオリックスが合併し、1リーグ制への移行も取りざたされた。これに猛然と反対したのが選手会だった。12球団維持を訴え、プロ野球史上初めてのストライキを執行する。それを指揮したのが、選手会長の古田（現会長は楽天・嶋選手）だった。

球界の「縮小均衡」をやむなしとする日本プロ野球機構（NPB）と、それでは明日はないと主張する選手会。ストで試合を中止したのに、ファンから「負けるな」の激励を送られた古田は「僕たちが迷惑をかけるのに……」と声を詰まらせた。

あのとき、古田が引いていたなら、たぶん新球団は生まれていなかっただろう。寄せ集めの弱小チームとして出発し、次第に力をつけ、被災地の希望となり、感動

の渦を巻き起こした東北楽天ゴールデンイーグルス。2013年11月3日の日本一の瞬間、Kスタで最も胸を熱くした一人が、解説席にいた古田ではなかったか。

もう一つ忘れられないのが、ホリエモンが率いたライブドアの存在だ。近鉄とオリックスの合併の危機に、真っ先に球界参入の名乗りを挙げたのがホリエモンだった。本拠地を仙台と定め、チームを「フェニックス」（不死鳥）と命名して、宮城県と二人三脚でNPB参入を目指した。そこに割り込む形で入ってきたのが楽天だった。

当時、仙台の街頭でアンケートをすると、市民の支持は圧倒的にライブドアにあった。さまざまな力学が働き、楽天が参入を果たすが、ライブドアという「先覚者」がいなければ、これまた今の楽天はなかっただろう。

イーグルスファンとして、古田とホリエモンに感謝したい。もちろん、こんなに素敵なチームを作り上げた楽天球団にも。そして何より、プロ野球「楽天イーグルス」がある街に住める仙台市民がうらやましい。

楽天参入が決まり、改築が始まった当時の宮城球場
2004年11月、毎日新聞社提供



第11回



伝統とは移ろうもの

ねえねえ浄圓房さん、仙台のお正月の事を教えてください。



はいはい承知した。仙台の正月の特色として全国的に有名なものは、初売りや仙台雑煮だろ

うかのう。初売りは、江戸時代、譜代の家臣で大町の肝入りだった只野小右衛門が、許可を得て始めた市で、仙台城下の芭蕉の辻を中心に、奥州街道沿いの国分町と交差する大町に限って行われていた「仲見世」とも呼ばれた12月25日から始まる「歳の市」が原型とされるのう。ご一新後は山家が自らの武家屋敷を商家とする土族を救う政策をとったため、



東一番丁は繁華街となり、そこに移った歳の市も仙台の街の伝統となり今の初売りにつながるんじゃない。

へえ、そうなんだあ！



そして仙台雑煮は、う、とくに焼きハゼを出汁に使うことについては、明治以降、ハゼの大漁に湧いた時その活用法として広まった。昔は広瀬川で獲れた鮎を雑煮の出汁として用いたりしたんじゃないが、それにならった。出汁を取った後のハゼを雑煮の上に載せたり生のイクラを載せたのも仙台のホテルや料亭がテレビ向けに演出したもので、う、それがまことしやかに広がってしまっただけじゃ。出がらしのハゼを櫛に載せるのは「骨張」というものじゃ。元々仙台領の雑煮と言えど鮎や鰯節で取ったお澄ましや、地鶏の出汁に焼いた角餅、からとりに凍み豆腐、仙台せりに蒲鉾の取り合わせが今でも多いんじゃない。



へえ、そうなんだあ！あの餅や納豆餅も美味しいね！

同じように、年越しや正

文・取材／千葉富士男
イラスト／がんじー

月にナメタガレイを食することも仙台の地方色とされるが、これも古くからのことではない。むしろ、江戸時代から戦前にかけて、仙台の正月の魚は鰯。現在では、正月に鰯を食べる習慣はほとんど残っていないが、正月に向けて鰯が出回らないことを心配し、調査を命じた伊達政宗公の手紙が残っている。戦前の仙台の年中行事に「正月には鰯汁が欠かせない」と記した文獻も残っている。

こうしてみると、「伝統」や「地域性」は決して固定したものではなく、時代と共に少しずつ変化しているということがわかるのう。

出典 仙台城下「町人列伝」、『要説宮城の郷土誌』仙台市民図書館編より
『浄圓房さんとは』延寿院境内の浄圓堂におられる「浄圓房大権現」である。

浄圓房さんは東照宮の別当にいた僧侶で、羽黒の行者となり、草駄天のごとき走力を得、麦飯を釜にかけて、それが炊きあがらないうちに羽黒の羽黒山へ往復したという。



◆五城中学校

12月24日(火)～1月7日(火)
冬季休業日
3月8日(土) 10:00 卒業式

◆北六番丁小学校

12月24日(火)～1月7日(火)
冬季休業日
3月18日(火) 10:00 卒業式

◆東六番丁小学校

12月24日(火)～1月7日(火)
冬季休業日
2月16日(日) 13:00開場 13:30開演
スクールバンド卒業コンサート
シルバーセンター交流ホール
3月11日(火) おにぎりの日
3月19日(水) 10:00 卒業式

◆常盤木学園高校

12月21日(土)～1月6日(月)
冬季休業日
2月15日(土) 13:00
音2演奏会
シュトラウスホール
3月1日(土) 10:00 卒業式

●五城中・北六小・東六小共通催事

・あいさつ運動 1月10日(金) 7:40～8:15 各学校・校門前他にて
この事業は五城学区地域連携推進協議会(五城中・北六小・東六小)が主催する連携
事業で、地域みんなで挨拶して明るい社会を築こうとする推進運動です。

・故郷復興プロジェクト第4弾「復興へ! 学校の力結集!」3月11日(火)



Q 小学生にアンケート!

まちで子育て まち育て

in 宮町秋まつり
(2013 年 10 月 19 日 東照宮境内)

Q1 お祭りで楽しかったものは?
一番人気はフリーマーケット、次いでクイズやダーツ

Q2 「みやっち」の印象は?
※P6 にみやっちが載っています。
かわいい。顔やもみじを変えてみたら?

Q3 お祭りに来る時、気をつけていることは?
(安全、防犯など)
お金を落とさないように、使い過ぎないように注意。自転車は、危険な所では降りて引く。また不審者に気をつけ、危ない所を通らない。年下の子は、きょうだいと一緒にいるようにすること。

Q4 宮町商店街でお気に入りのお店は?
駄菓子屋くまちゃん、ジュリエットラフ
ケーキ(大人と一緒に)

友だちと来ているのは高学年が多く、きょうだいと来ている子も。みんなおとなの注意をきちんと守りながら、おまつりを楽しんでいました。これからも地域の目で子どもたちを見守っていきましよう。

アンケートに協力してくれたお友だち(東六、北六、幸町、附属の各小学生。1年生から6年生の男女合わせて14名)ありがとうございました。



今後「子ども」をテーマに取材を続けます。皆さんのご意見、ご感想、取材リクエスト等、お気軽にお寄せください。

下記「お! 宮町地域情報編集局」まで

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社様
仙台市青葉区中央1丁目3-1
TEL: 022-723-8000

資産運用と有効利用のベストパートナー

株式会社マイザ様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-9830



西松建設株式会社
北日本支社様
仙台市青葉区大町2-8-33
TEL 022-261-8161



積水ハウス(株)仙台支店様
仙台市青葉区一番町4丁目6-1
仙台第一生命タワービルディング5F
TEL: 022-722-3640

株式会社
アサヒ建築設計事務所様
仙台市太白区長町3-4-16
TEL: 022-247-5230

協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック様

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様のご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

◆ 今号の表紙絵について

「元朝参り」
1月1日の新年へと日付が変わる頃、仙台東照宮は大勢の参拝者であふれかえります。その熱気を全身に浴び、拝殿内にて宮町の繁栄を願った元朝祈願を受けます。東照宮の門前町として今年も変わらず続いて行くいつもの街に、心静かに思いを馳せます。

(がんじ)

【編集後記】

038プレスも今号で11号になります。今まで以上に特色ある紙面を目指し、徐々にはありますがファンを増やしていきたいと思えます。そのためには、ローカルが先かグローバルが先か、悩ましいところですが、そこは『グローカル』で、ということ、ぼちぼち行か? の心境です。

(加納実)

東六小5年生が作った「106(とろろ)プレス」、お読みいただけましたか? 3年生の頃から宮町のお店探検をし、地域の方々と交流を深めてきました。書くことに自信はなかったものの、大好きな宮町、大好きな東六小だからこそ、伝えたいことがたくさんあったようです。「038プレス」のこともテレビやポスターなどで宣伝してくれました。すでに地域の1員として活躍している子どもたち。038プレス編集委員になれる日も近い!

(鹿野 恵美子)

< 編集局からのお願い >

お宮町の昔の写真や逸話など、この町の情報を募集いたしております。情報をお持ちの方、取材の要望などがございましたら、右の宛先までご連絡ください。

< 編集メンバー >

主筆/海老一朗 編集長/千葉富士男

編集委員/遠藤真吾 加藤久枝 鹿野恵美子 加納実 加美山朋 菊池ゆう子 木村くみ 佐藤正二 佐藤広行 佐藤正則 佐藤靖
中央俊彦 白川律 高橋孝敏 永田良治 針生英一 三岡昭博 和田政宗(50音順) 顧問/今泉清二 アドバイザー/内海睦夫
イラスト/がんじー デザイン/針生奏子 星瑞枝 協力/東北工業大学 ライフデザイン学部

お! 宮町地域情報編集局

〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)

TEL 090-7932-5021(千葉) E-mail ohmiyamachi@gmail.com